

川内川溪谷遊歩道

川沿い4.4kmにわたって整備されている遊歩道には、大滝やハツ橋などの展望スポットもあり、川内川にかかる吊り橋やアーチ橋、斜張橋からはそれぞれ異なる溪流美を眺めることができます。

弘前城さくら祭り

日本一といわれる弘前城の桜は、ソメイヨシノを中心に約50種、2,600本の規模を誇ります。300年ほど前、津軽藩士が25本の桜を城内に植えたのが始まりとされています。桜のトンネルやライトアップされた夜桜は圧巻です。



奥薬研溪温泉

下北半島の山あいにある静粛な温泉郷。「夫婦かっぱの湯」は「奥薬研修景公園レストハウス」内にあり、男女別露天風呂と足湯があります。



恐山大祭

地獄と浄土が同居する恐山は日本三大霊場のひとつに数えられています。大祭ではイタコの口寄せが行われ、亡き人の声に涙する光景が見られます。



大間の本マグロ

本州最北端大間崎沖で捕れる「大間の本マグロ」。脂の乗りと深い味わいの赤味が幻の逸品とされている。豪快な一本釣りは、大間を代表する伝統漁法として知られています。



嶽温泉郷

弘前藩4代藩主・津軽信政が開湯したとも伝えられている「嶽温泉郷」。藩政時代から湯治場として名高く、水戸光圀の命を受けた家臣が残した記録には湯治客で賑わう様子が記されています。



お山参詣

向山(むかいやま)と呼ばれる初日は、大勢の参拝者が参道を登ってお参りします。登山囃子が響く中「サイギ、サイギ」の掛け声を響かせて岩木山神社を目指し、そして最終日の3日目には岩木山の山頂を目指し未明に出発します。



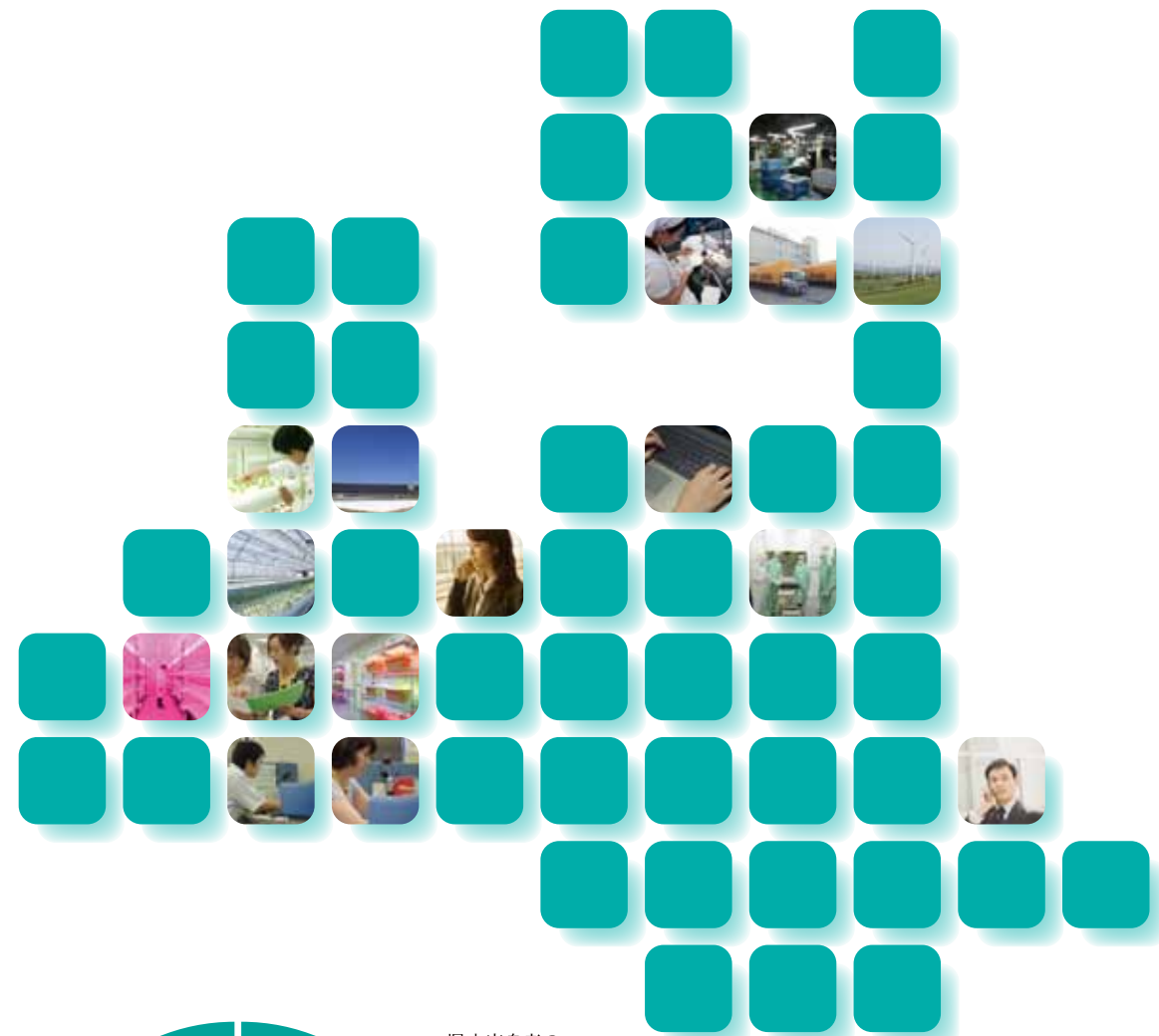
嶽さみ

岩木山麓に広がる嶽高原で収穫されたとうもろこし「嶽さみ」。このとうもろこしが栽培されているところは、朝晩の寒暖差が大きいことから、生でも食べられるほど甘味が強く、味も濃いのが特徴です。

青森Biz通信

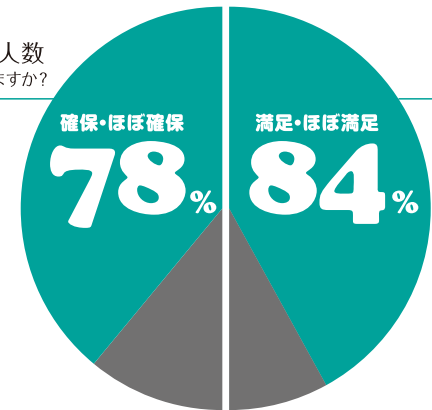
知 っ て く だ さ い ！ 新 ・ 青 森 力

豊富、勤勉、満足度の高い優れた人財力！



県内から
必要な雇用人数
を確保できていますか？

量・質共に
豊富！



県内出身者の
勤務状況・態度
はどうですか？

粘り強い
忍耐力



企業立地のご相談・お問合せ

青森県 商工労働部 産業立地推進課

〒030-8570 青森市長島1-1-1
TEL.017-734-9381 FAX.017-734-8109
E-mail:kogyo@pref.aomori.lg.jp

青森県 東京事務所 産業立地推進課

〒104-0028 東京都中央区八重洲2-2-1 住友生命八重洲ビル5階
TEL.03-3271-0707 FAX.03-3271-0708
E-mail:A-TOKYO@pref.aomori.lg.jp

青森県 名古屋産業立地センター

〒460-0008 名古屋市中区栄4-1-1 中日ビル8階
TEL.052-259-7688 FAX.052-259-7805
E-mail:a-nagoya@pref.aomori.lg.jp

青森県 大阪情報センター

〒530-0001 大阪市北区梅田1-3-1-900 大阪駅前第1ビル9階
TEL.06-6341-2184 FAX.06-6341-7979
E-mail:a-osaka@pref.aomori.lg.jp

青森県 福岡情報センター

〒810-0001 福岡市中央区天神2-8-34 住友生命福岡ビル1階みちのく夢プラザ
TEL.092-736-1129 FAX.092-716-2037
E-mail:a-fukuoka@pref.aomori.lg.jp

「青森県産業立地ガイド」ホームページ

青森 産業立地 検索
<http://aomori-ritti-guide.jp>

誘致企業はすっかり「地元企業」となり、国内最大級のストッキング生産工場に。

ストッキング生産量、日本最大級の工場がむつ市にあります。

私どもは、アツギ株式会社の生産会社として、おもにストッキングを作っています。その生産量はアツギ全社のほぼ半分を担っており、日本最大級と自負しております。また、原料の糸の加工から編み立て、縫製、染色、商品検品まで、全工程一貫ラインのある基幹工場という重要な位置づけの工場でもあります。



業界としては、数年前の「ナマ足ブーム」や少子化など、厳しい市場動向ではありますが、近年は「おしゃれ」と「機能性」という、ストッキングの商品特性の原点に立ち返って開発したラインナップが好評です。急速に伸びる市場ではありませんが、消耗品なので安定市場であるとも言えます。デフレの世の中ですが、価格を下げずともお客様に選んでいただける、付加価値の高い商品づくりをポリシーにしております。

誘致から45年。「地元企業」と言えるくらい、地域に根づきました。

むつ事業所はおかげさまで、操業を開始して今年で45年です。設立当時は高度成長期で、東北全体の開発のため、国策会社からの支援もあって実現したようです。最盛期には、東北6県で60カ所以上の事業所・工場があったといえます。その頃は、地方の人材が、人手不足の都会へ集団就職していた時代です。東北各地への進出は、その流れを逆転の発想で捉えたもので、「労働力の豊富なところに工場を建てよう」というねらいでした。



代表取締役社長
早坂 俊彦さん

むつ市を選んだ理由は、水と人材です。ストッキングは染色工程で質のよい大量の水を必要とします。また、労働力を確保するため、ある程度の人口のある都市でなければなりません。むつ市は、その両方を満たしてくれたのです。



さすがに設立から45年ともなると、高卒で就職した方もすでに定年退職されている年月です。だから親子2代、さらには3代にわたってアツギで働いてるよ、というご家族までいます。誘致企業ではありますが、感覚としてはすでに地元企業として根づいたのではないかと考えております。



長い年月にわたって成長を支えてくれたのは、やっぱり「人」のチカラ。

かつて、たくさんあったアツギの国内生産拠点は、現在、むつ事業所1カ所に集約されました。たくましく存続してきた理由には、やはり、青森県ならではの、むつ市ならではの良さがあったと思います。ポイントは「人」と「分散型の地域性」でしょうか。

人については皆さん本当に「粘り強く」「実直で」「一生懸命」です。このように一貫生産する工場の強みというのは、商品改良におけるスピーディなフィードバックができることや、急ぎ

の発注に対応できることが挙げられます。ただそれは、対応できる「人」の力があってこそ。それを45年にわたって支えてきてくれた「人」の力に、ただただ、頭の下がる思いです。



そして地域性ですが、青森県は一極集中じゃないところがユニークですね。歴史的・地理的な背景があるのですが、県庁所在地以外のところにも人と産業が分散していて、むつ市は、私たちにはちょうどよい環境が揃っていました。行政も拠点を置いて対応してくれていますし、東北新幹線の全線開業のおかげで出張も便利です。つまり青森県は、県庁所在地以外にも、言うなれば「穴場」を見つけることができる、ということではないでしょうか。

個人的にもむつ市は大変気に入っています。緑が多いし、食べものもおいしい。住むのに、ちょうどいい街だと思います。引退したらこのまま住んでもいいんじゃない、と女房と話したりしてるんですよ(笑)。

アツギ東北株式会社むつ事業所

〒035-0061 青森県むつ市下北町19-5

本 社	神奈川県海老名市大谷北1-9-1
会社設立	1966年5月
創業開始	1967年3月
誘致年数	45年
従業員数	1,835人(社員/契約社員/パート合計)
事業内容	ストッキング製造

2012年6月現在



弘前パートナー受付センタ センタ長
前山 浩樹さん

弘前市で、NTT東日本の営業エリア、17都道府県すべてをカバーすることになりました。

テルウェル東日本は、NTT東日本のグループ会社で、様々なアウトソーシング業務を承っております。そのフィールドはかなり広いのですが、弘前市のパートナー受付センタでは、NTTグループのサポート業務として、代理店企業から取り次がれた販売情報をもとに、お客様へサービス利用の手続きを進めています。また、これらほとんどすべてが電話による業務である、というのも大きな特色です。



このようなコールセンター的業務は、地方に拠点があっても、担当エリアは県内に留まらない、というのが一般的です。電話は全国どこでもつながりますからね。2008年の設立年度の担当エリアは、東京都の一部と青森、長野、新潟、山梨、岩手、宮城でしたが、今年の9月からはゲンと広がることになりました。これは同じ業務をしていた秋田のセンタを弘前に集約して引き継ぐためで、NTT東日本の営業エリアすべて、つまり17都道府県をカバーすることになります。また、10月には新たに光ファイバー通信関連の業務も開始し、おかげさまで、業務量が2倍以上になりそうなので、いま、大幅に新規契約社員を増やして、対応しています

設立から4年。県と市のサポートも受けながら、順調に拡大してきました。

そもそもは、NTT東日本-青森に代理店受付センタという部門があったのですが、業務を拡大しつつアウトソーシングし、より専門化する

そのスキルが、東日本全域で通用する優秀な人材が、地方にはまだまだいます。

ことで強みを出していこうということで、当時のテルウェル東北という会社が業務委託されたのが始まりです(注/2012年7月にテルウェル東北、テルウェル東日本、テルウェル北海道が統合して、現在のテルウェル東日本が新発足している)。



その設立にあたっては、青森県、弘前市、どちらからも手厚い支援があり、大変感謝している次第です。特に雇用奨励金というのが、大きな支えとなりました。元々のスタッフ50人ほどこに加えて、新たに100人ほどの契約社員の方を雇用してスタートできたのですが、それなりに大きな雇用の場を創出でき、少なからず恩に報いることができたと思っています。ちなみにこの秋に向けての雇用は、約120人規模となる予定です。



「人材がすべて」のコールセンター業務で全エリアを任される、弘前市のすばらしさ。

なぜ、弘前市のセンタが、どんどん拡大しているのか?につきましては、「人材のすばらしさ」に尽きます。非常に「勤勉」「真面目」で「優秀」です。研修では、ロールプレイングを何度も何度もやったり、細かな商品知識を習得したり、と決してラクではないのですが、一生懸命ついてくれます。また、「みんなで声を出そう」とな

れば、ちゃんと声を出してくれる「素直さ」もあります。目に見えて成長していくのがわかるので、育成する側もやりがいがあるんですよ。何より「明るい」のがいいですね。自然と職場も明るくなって雰囲気もよくなります。

そういうこともあってか、ここはスタッフの「定着率」が非常に高いのです。一般にコールセンター系の職場は、定着率がかなり低いと聞きますが、弘前市ではほとんどの方が、契約更新していただいています。数字でいいますと、昨年度130人くらいのスタッフのうち、更新されなかった方はわずか2人。結婚退社の方を含めてなので、非常にありがたい状況だと思っています。



余談ながら、住むにもとてもいいところですね。食べものもおいしくて、私は着任して一年ちょっとですが、すっかり太ってしまいました(笑)。桜まつりや岩木山にも感銘を受けましたし、温泉、ドライブなど、日々、青森ライフを満喫しております。

テルウェル東日本株式会社 弘前パートナー受付センタ

〒036-8203 青森県弘前市本町71 NTT弘前本町ビル
本 社 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-14-9
会社設立 2001年4月
創業開始 2008年6月
誘致年数 4年
従業員数 8500人(弘前の契約社員186人)
事業内容 NTT代理店各社からの受付業務、NTT商品に関する電話応対及びデータ投入作業

2012年8月現在